

地域で暮らす人の幸せを みんなで目指す取り組み



計画策定のため市内3地区で実施した「座談会(地域づくりカフェ)」。写真は中部ブロックの様子(平成30年7月22日)

本市はさまざまな地域課題に市民の皆さんなど一体となって取り組んでいくため、本年3月に「第3期佐世保市地域福祉計画」を策定しました。今回の特集では、この「地域福祉」に焦点を当て、本市の高齢化や世帯数の現状、地域福祉に関する課題、地域福祉計画の概要などについてお知らせします。

地域福祉

「地域福祉」とは、自治体や地域住民・民間団体が連携しながら、地域を単位として福祉問題を取り上げ、その解決を目指す総合的な施策と実践活動のことです。

福祉という言葉には「幸福」という意味があるため、「地域で暮らす人の幸せをみんなで目指す取り組み」と言っても構いません。

今、社会では、少子高齢化や人口減少が進むとともに、個人の価値観や生活スタイルの多様化によって地域住民同士のつながりが希薄になってきています。

また、私たちの日常生活においても、虐待や孤独死、潜在的な生活困窮、子どもの貧困の連鎖など、従来の縦割り制度では十分に対応しきれない課題も顕在化しており、その解決が求められています。

このようなことを背景として、本市は本市の地域福祉施策の指針となる「第3期佐世保市地域福祉計画」を本年3月に策定しました。

佐世保市地域福祉計画

地域福祉計画とは、社会福祉法を根拠として、住み慣れた地域で行政、住民、事業者、民間団体が一体となって支え合う総合的な地域福祉に取り組む計画のことです。本市は平成21年3月に第1期佐世保市地域福祉計画を、26年3月に第2期計画を策定しました。

第3期計画の策定に当たっては、市民アンケート調査や座談会等を実施して現状やニーズの把握などに努め、民生委員児童委員協議会連合会や学生ボランティア協会など、さまざまな関係機関の代表者などで委員を構成する「地域福祉計画推進委員会」で検討し、本年3月に策定を行いました。

計画期間は5年間で、今後、地域共生社会の実現に向け、地域課題解決のための仕組みづくりや福祉活動の充実、ニーズに応じた福祉サービスの充実などの施策に取り組んでいきます。

こうした施策を着実に実施していくためには、市民の皆さんが「自分や家族が暮らしたい地域」について主体的に考え、積極的に参加していただくことが必要不可欠ですので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

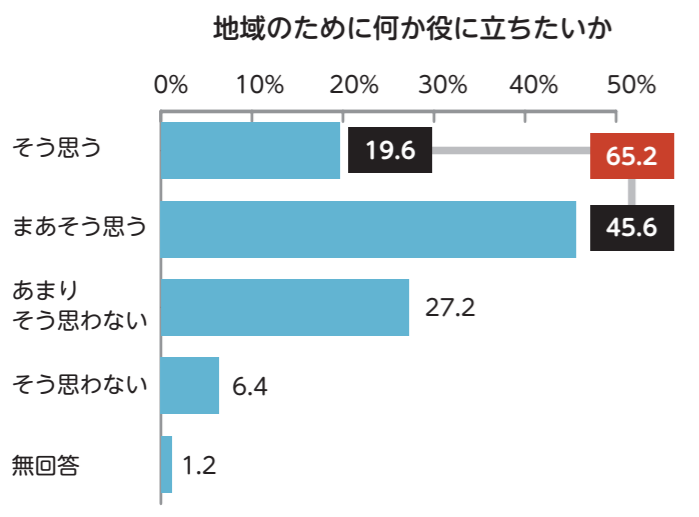
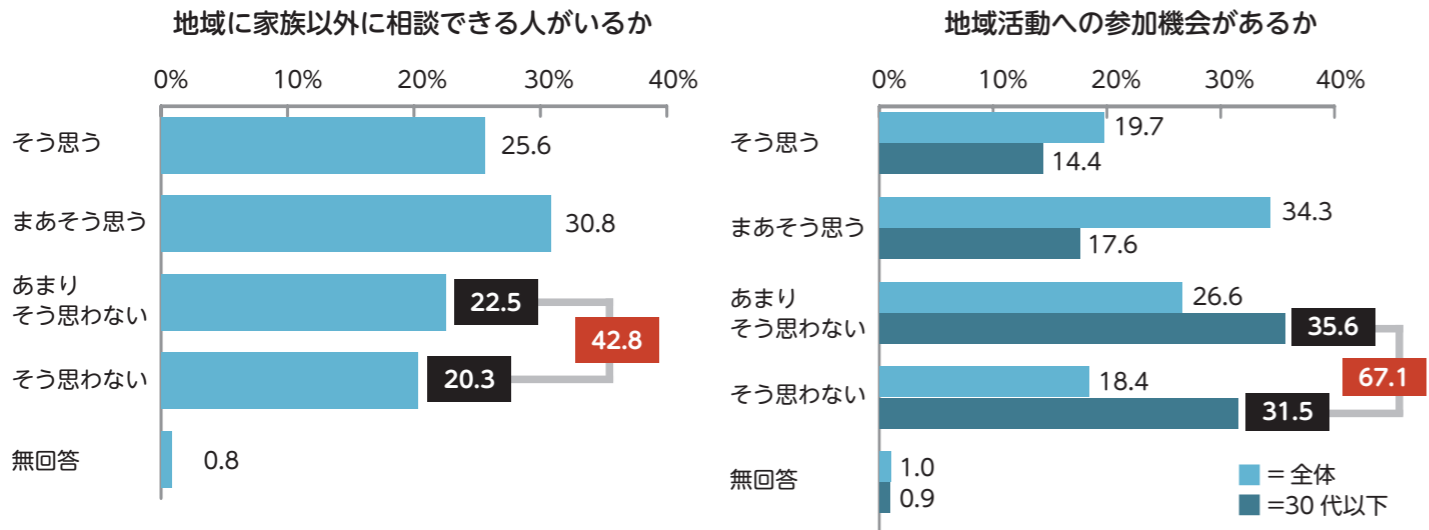


佐世保市地域福祉計画の全文はこちらからどうぞ



※本市では「地域福祉計画」と、地域福祉推進の中心的な組織である佐世保市社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」を一体的にした計画書を作成しています。

アンケート結果から見る市民の現状



座談会(地域づくりカフェ)での意見

- 「困ったときにはここに行けばいい」と常に認識できる窓口が必要
- 相談したくても誰にしていかが分からず困っている人が多い
- 困る前から地域の人々とのつながりを大事にしなければならない
- 子どもから大人まで(障がい者、お年寄り)が集まれる場所を設けることが必要
- 地域づくりカフェのような場があったら、連携づくりのきっかけになると思う など

※平成30年7月～8月に市内3地区で実施。

※佐世保市の地域福祉の推進に関する調査(平成29年10月～11月) 18歳以上の市民3,300人対象 有効回答数1,244件

地域福祉に関する本市の課題

相談支援体制・連携の充実

身近な地域において、地域の課題把握・解決のため、相談しやすい環境づくりや相談支援体制の充実が求められています。

課題を解決できる地域力の強化

地域のために何か役に立ちたいと思っても、それが活動につながっていない矛盾があることから、ボランティア・市民活動団体のPRや活動の推進による福祉活動の充実、人材育成に取り組み、地域の力で課題を解決できる仕組みづくりが必要です。

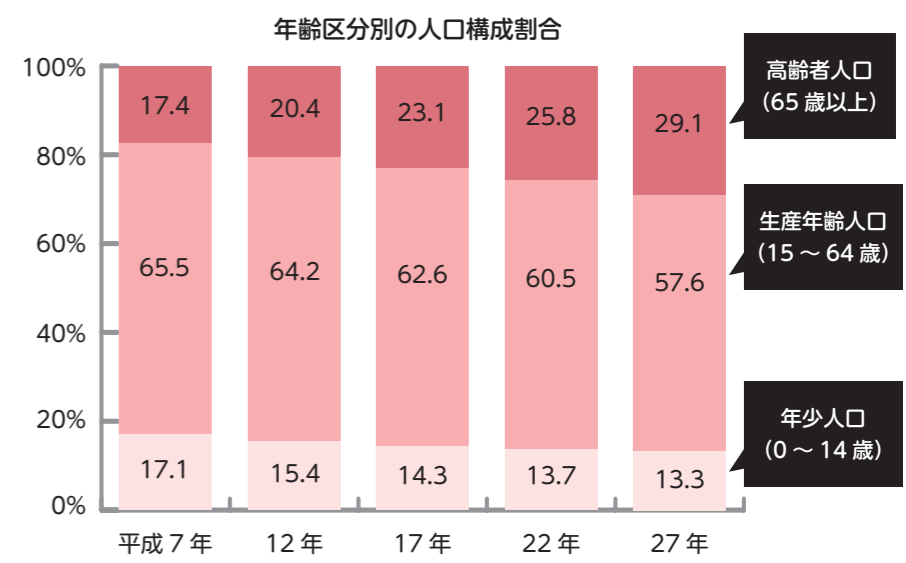
ニーズに応じた福祉サービスの充実

専門職や関係機関が連携し、フォーマル・インフォーマルサービスを組み合わせ自立した生活を支える福祉サービスの充実が必要です。

統計から見る本市の現状

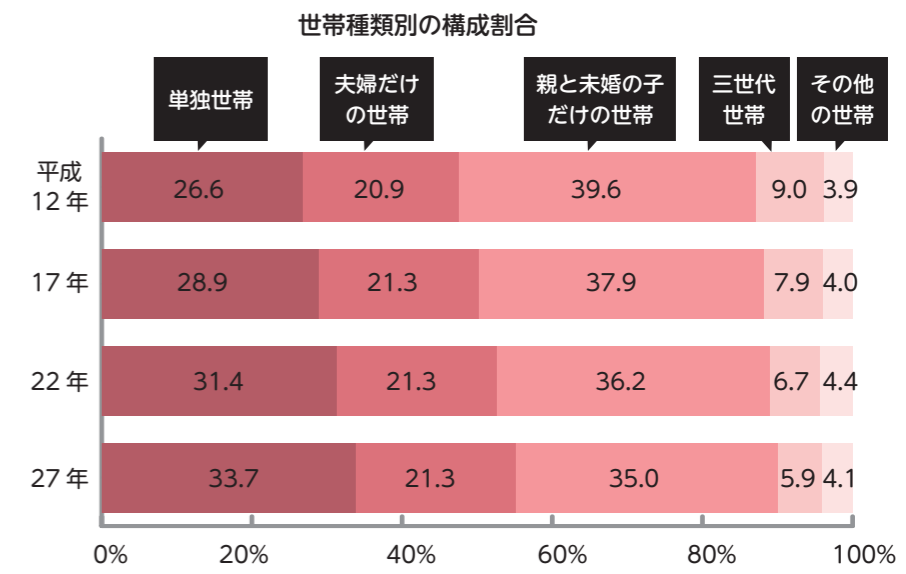
少子高齢化が進展

年齢区分別の人口構成割合を見ると、年少人口が低くなる一方で、高齢者人口の割合が顕著に高くなっており、少子高齢化が急速に進んでいることがわかります。



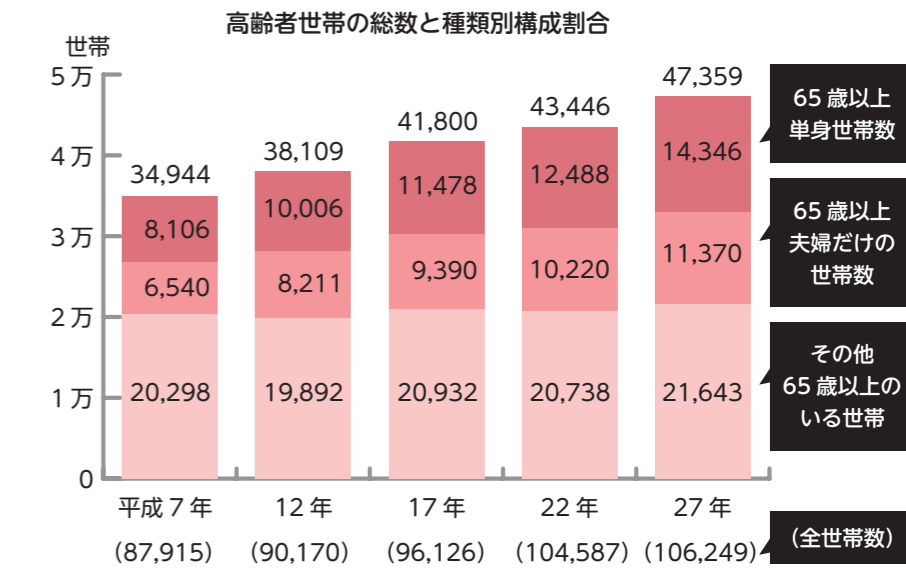
単独世帯が増加

各世帯を種類別に見ると、「親と未婚の子だけの世帯」「三世帯世帯」の減少が続いている一方で、「単独世帯」の増加が顕著になってきています。



高齢者世帯が増加

高齢者世帯の推移を見てみると、高齢化の進行とともに、「65歳以上の高齢者がいる世帯」の総数が急激に増加しています。また、同時に核家族化も進行しているため、「高齢者だけの世帯」が増加傾向にあり、社会的な孤立を招きがちな「高齢者の単身世帯」も増加が続いています。



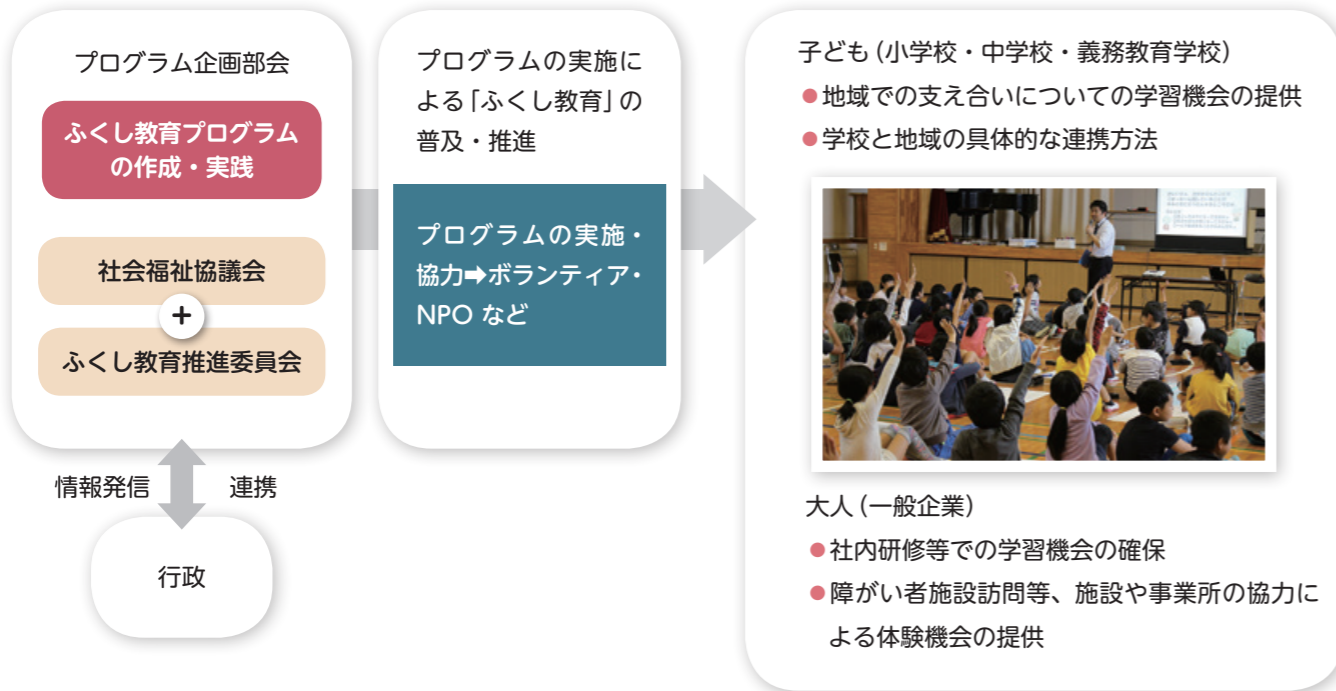
※資料：国勢調査

基本目標 2

地域における福祉活動の充実と人材育成

佐世保「地域福祉教育」プロジェクト

子どもから大人まで、多様な人との出会いや交流から、生命を大切に、他人への思いやりや感謝の気持ちを持つとともに、人間の生き方について学び、それぞれの立場や心情を思いやり、互いに支え合うことの素晴らしさにふれるような機会づくりを推進します。



基本理念

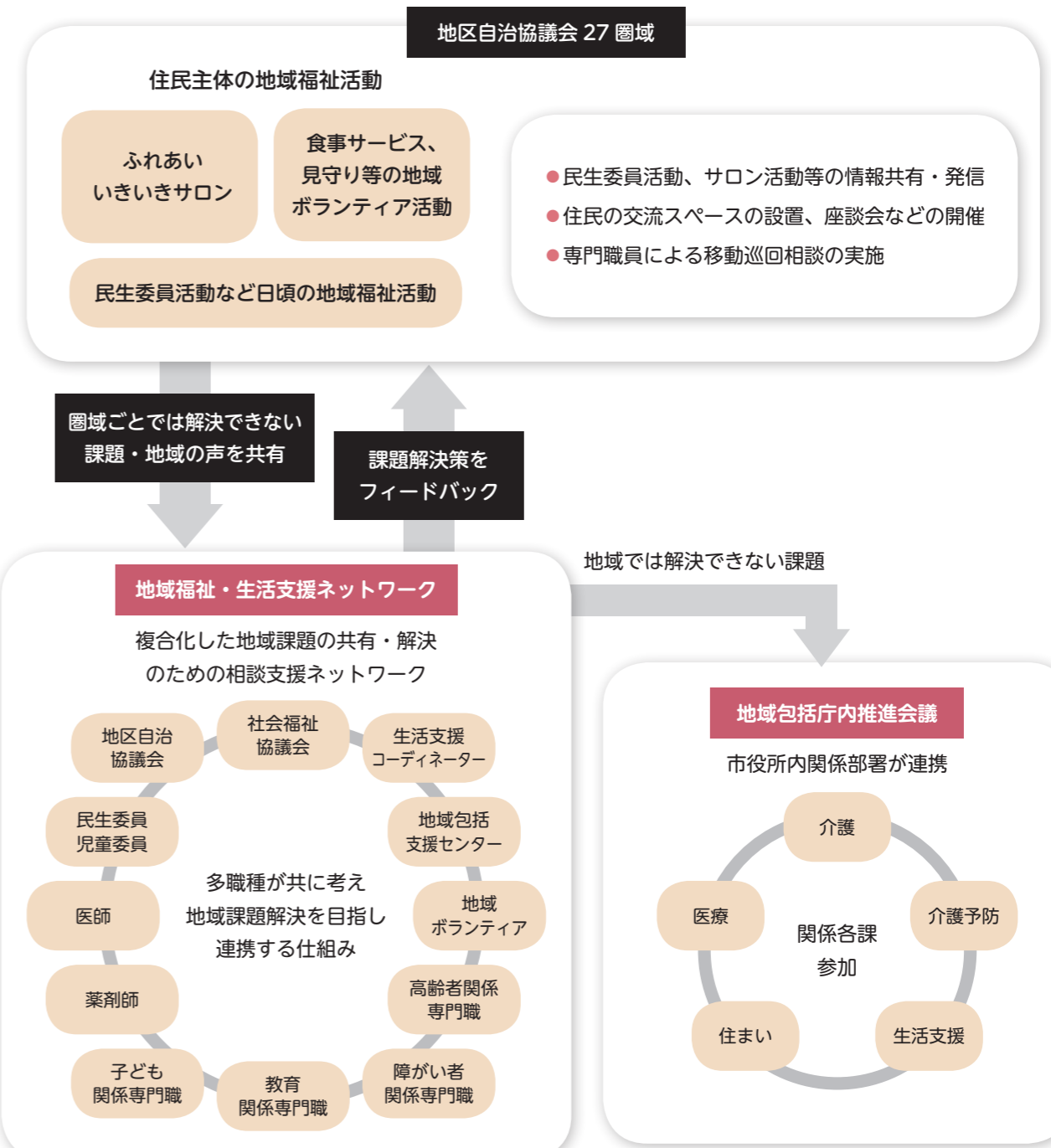
一人一人が役割を持ち、地域で支え合いながら暮らすことができる「地域共生社会」の実現
～人と思いがつながるまち佐世保～

基本目標 1

地域の課題把握・解決のための仕組みづくり

佐世保「地域福祉・生活支援ネットワーク」プロジェクト

身近な地域で気軽に立ち寄り、相談ができる「場づくり」を進めるとともに、把握した課題解決のため、各種制度や組織の縦割りを越えた支援が可能になるよう「地域の現場で活動する人たちが」つながり、一つになれる協議体を構成し、地域住民、医療・福祉の専門職をはじめ、多職種・多機関の連携による地域づくりに取り組みます。

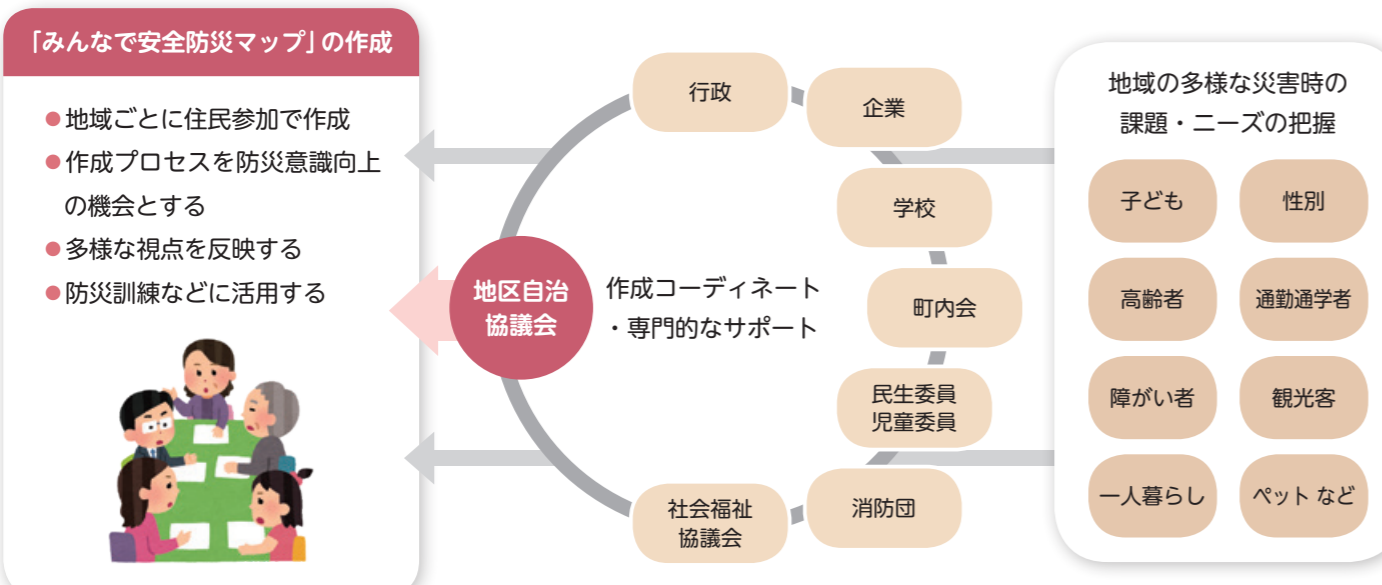


基本目標 3

自立した生活を支える福祉サービスの展開

佐世保「安全・安心のまちづくり」プロジェクト

災害から地域住民の生命を守るための取り組みの一つとして、住民が主体となって地域の防災マップを作成することで、一人一人の防災・災害に関する認識や関心を高めるとともに、地域の連帯の深まりを目指します。





自分にできることを少しずつ

本年度から「第3期佐世保市地域福祉計画」の取り組みが始まりました。

本市ではこの計画を基本に「地域共生社会の実現」に向け、地域課題解決のための仕組みづくりなど、さまざまな事業に取り組んでいくこととしています。

しかし、地域福祉を進める上で最も大切なことは、住民の皆さんが自分の住んでいる地域や住民のことに関心を持ち、考え、自分にできることを少しずつでも行動に移していくことです。

仮に課題解決の仕組みができたとしても、住民の皆さんの意識が変わらなければ、地域福祉は決して充実したものにはなりません。

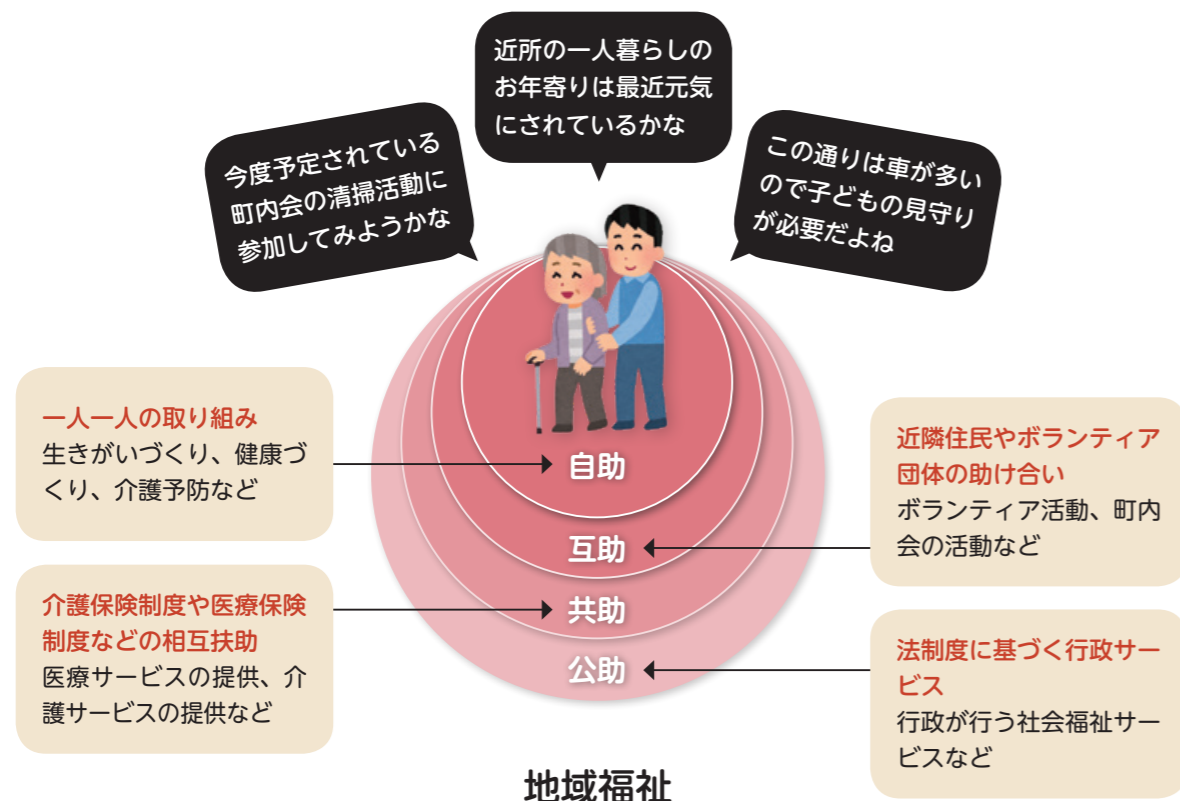
まずは住んでいる地域や住民の皆さんに対する「意識を変える」こと。

意識が変わると、それが行動につながり、行動を重ねると習慣になるといわれています。

そのような習慣を身に付けた人がたくさん住む地域は着実に地域福祉が向上していくはずですよ。

核家族化が進み、共働きが増えるなど、現代社会での暮らしは時間的な制約もあるかもしれませんが、それでも皆さんにできることは必ずあると思います。

地域に暮らす全ての方が幸せになれるように、まずは意識を変えてみませんか。



「佐世保市がさらに住みやすい地域になるために」をテーマに実施した「座談会（地域づくりカフェ）」の1コマ。「地域力」について、参加した皆さんから多くの意見が出され、熱い思いが語られました。